

1 オウバク

2 **生薬の性状の項を次のように改める。**

- 3 **生薬の性状** 本品は板状又は巻き込んだ半管状の皮片で、厚さ
4 2～4 mmである。外面は灰黄褐色～灰褐色で、多数の皮目
5 の跡があり、内面は黄色～暗黄褐色で、細かい縦線を認める
6 が平滑である。折面は繊維性で鮮黄色を呈する。
7 本品は弱いにおいがあり、味は極めて苦く、粘液性で、唾
8 液を黄色に染める。
9 本品の横切片を鏡検(5.01)するとき、皮部外層は薄く、
10 石細胞は黄色で散在する。皮部内層は厚く、一次放射組織は
11 外方に向かうに従い幅が広がるので、二次皮部の一次放射組
12 織間はほぼ三角形を呈し、その頂点に後生放射組織が集中す
13 る。師部繊維群は淡黄色～黄色で、放射組織間に師部と交互
14 に並び、明瞭な格子状を呈する。